

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-2	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（SPAGEL シリーズ）	2010-11-02

1. 適用

適用を表 1 に示します。

表 1. 適用表

巻上機型式	記事
MX06 シリーズ	巻上機昇降路上部設置型
MX10 シリーズ	
MX20 シリーズ	
SSE-250 シリーズ	巻上機ピット設置型

尚、MX06A J1、MX06A J2 など型式の展開を MX06 シリーズと総称します。
他の型式についても同様です。

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-2	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (SPAGEL シリーズ)	2010-11-02

2. 検査方法

2. 1 巻上機型式 : MX06シリーズ、MX10シリーズ、MX20シリーズ

ドラム式のブレーキを採用しています。ブレーキの概略図を図1に示します。

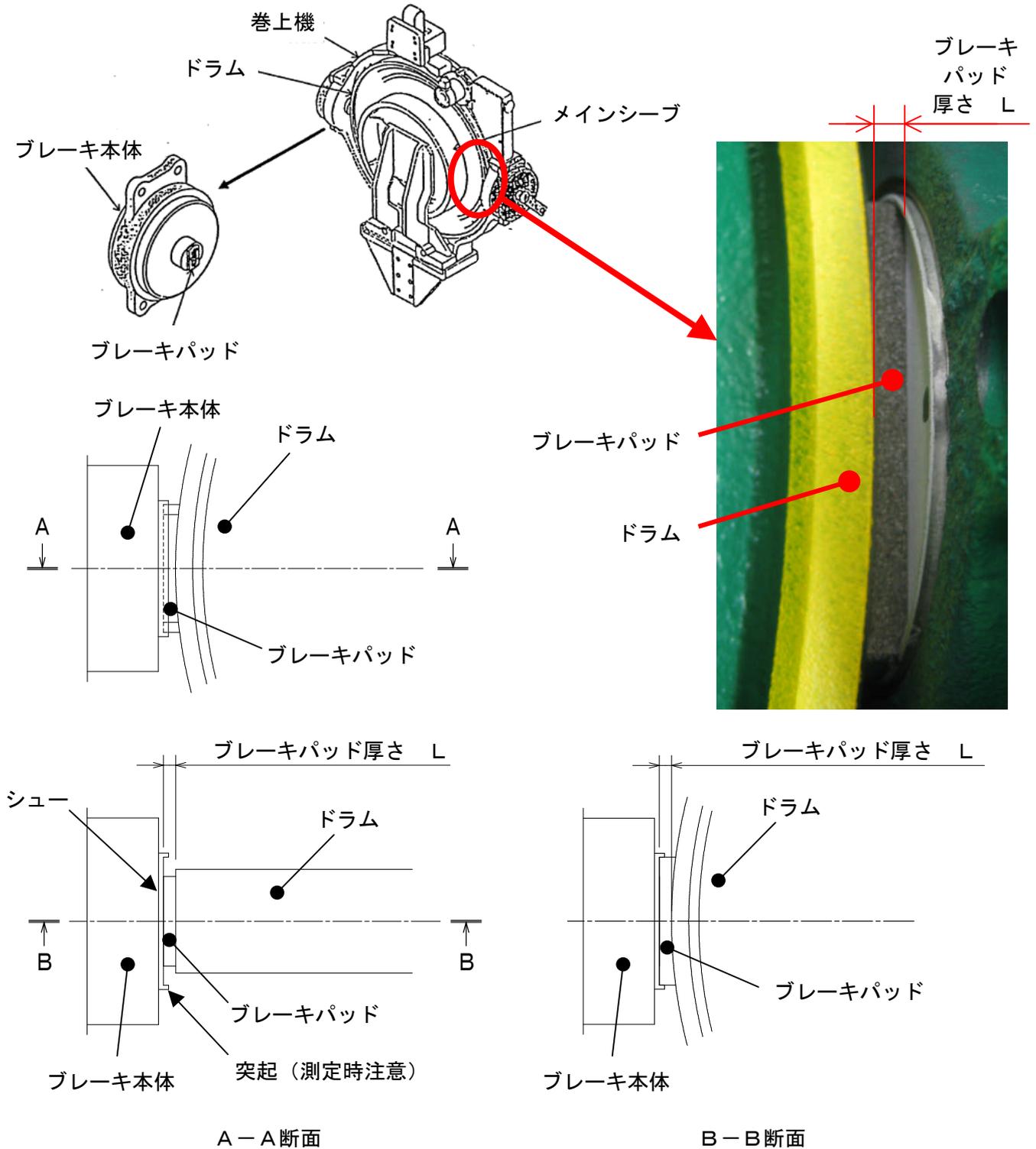


図1. ブレーキ概略図

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-2	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（SPAGEL シリーズ）	2010-11-02



注意事項

作業を行う際は、以下の点に注意してください。

- ・この型式の巻上機には2つのドラム式ブレーキが装着されています。
- ・2つのブレーキ個々に確認を行ってください。
2つのブレーキは電氣的に連動して動きますが、機械的には連動していません。

- (1) かご固定装置でかごが固定されている事を確認してください。
- (2) ブレーキシュー外周の突起に注意してブレーキパッドの厚さ（L）を確認し、表2により判定を行ってください。要重点点検の場合は、重点点検を実施しブレーキユニットの交換準備を行ってください。要是正の場合は、速やかにブレーキユニットを交換してください。
- (3) 各部測定終了後、確実に復帰してください。

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-2	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (SPACEL シリーズ)	2010-11-02

2. 2 巻上機型式：SSE-250シリーズ (巻上機ピット設置型)

電磁ディスク式のブレーキを採用しています。ブレーキの概略図を図2に示します。

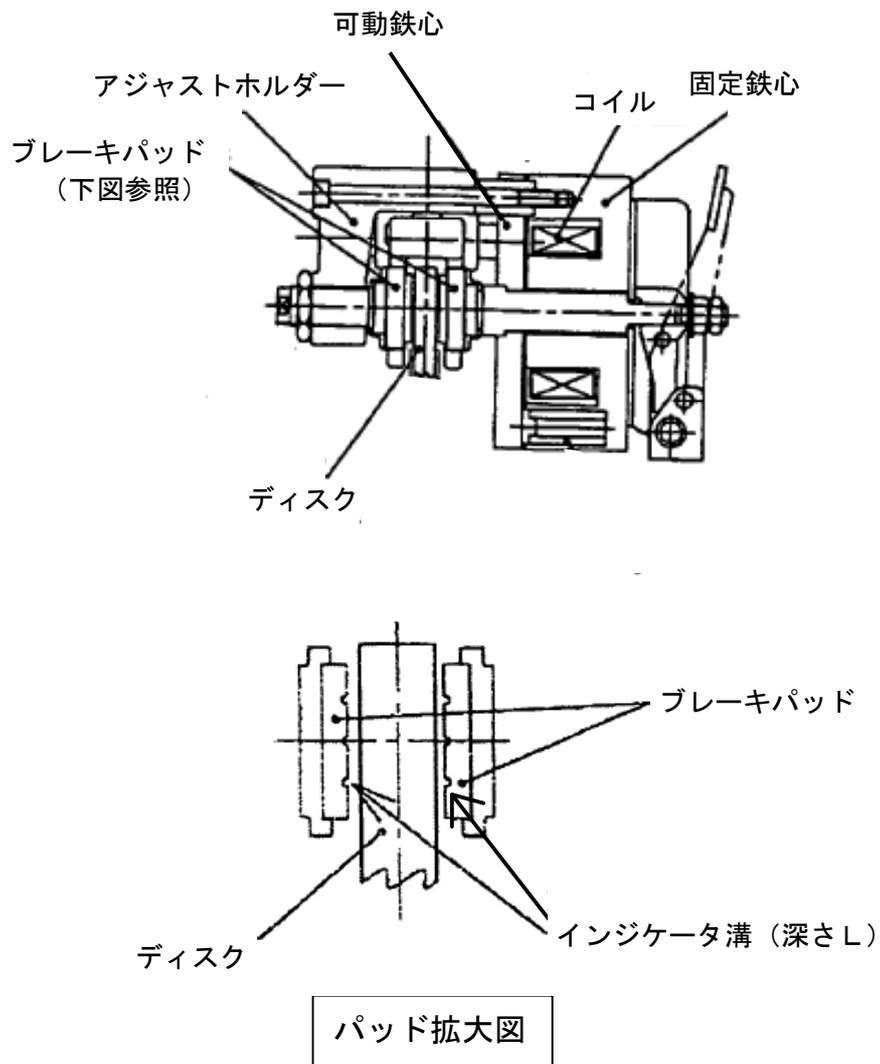


図2. ブレーキ概略図

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-2	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（SPAGEL シリーズ）	2010-11-02



注意事項

作業を行う際は、以下の点に注意してください。

- ・この型式の巻上機には2つの電磁ディスク式ブレーキが装着されています。
- ・2つのブレーキ個々に確認を行ってください。
2つのブレーキは電氣的に連動して動きますが、機械的には連動していません。

(1) かご固定装置でかごが固定されている事を確認してください。

(2) 図2のように、ブレーキパッド摺動面にはインジケータ溝（初期深さ 1.5mm）がついています。インジケータ溝の深さ（L）を確認し、表3によりブレーキパッドの判定を行ってください。なお、ブレーキパッドはディスクの両面側に1個ずつ装着されており、個々に対して確認が必要です。要重点点検の範囲となった場合は、重点点検を実施しブレーキパッドの交換準備を行ってください。要是正の場合は、速やかにブレーキパッドを交換してください。なお、ブレーキパッドの交換を行う際には、ディスク両面側のブレーキパッドを両方とも交換してください。

(3) 各部測定終了後、確実に復帰してください。

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-2	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (SPAGEL シリーズ)	2010-11-02

3. 判定基準

3. 1 巻上機型式 : MX06シリーズ、MX10シリーズ、MX20シリーズ

表2. 判定基準

巻上機型式	測定寸法 L mm			
	初期	正常	要重点点検	要是正
MX06 シリーズ	$L = (5) \text{ ※1}$	$L > 3.5$	$3.5 \geq L > 3$	$3 \geq L$
MX10 シリーズ	$L = (5) \text{ ※1}$	$L > 3.5$	$3.5 \geq L > 3$	$3 \geq L$
MX20 シリーズ	$L = (5) \text{ ※1}$	$L > 3.5$	$3.5 \geq L > 3$	$3 \geq L$

※1 測定寸法Lの初期の値は参考値を示しています。

3. 2 巻上機型式 : SSE-250シリーズ (巻上機ピット設置型)

表3. 判定基準

巻上機型式	測定寸法 L mm			
	初期	正常	要重点点検	要是正
SSE-250 シリーズ	$L = 1.5$	$L > 0.5$	$0.5 \geq L > 0$	$L = 0$